

十条小学校日記（11月21日）

文化庁による芸術文化による子供育成推進事業

「子供 夢・アート・アカデミー事業」

画家の絹谷幸二先生（東京藝術大学名誉教授）の授業を5・6年生が受けました。前半の講演では、見ることの大切さや「見ること＝考えること」であると教えていただいたり、先生の作品を鑑賞したりしました。

後半の実技では、絵の具で友達を描きました。通常は、形を先に描いてから形に合わせて色を塗っていくことが多いですが、絹谷先生の授業では、経験したことがない混色の方法で、先に紙に様々な色を塗り、その上から黒い絵の具で友達の輪郭を描きました。違いに戸惑いながらも自由に描き、それぞれが個性的な作品を完成させました。先生の「絵は上手く描く必要はない。楽しく描けばよい。スポーツでも何でも、自分の好きなことを見つけて、楽しく取り組むことが大切。」というお話しが、とても印象的でした。

